

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



伝統継承 平和 共栄

派手な装束を身につけ、わざわざ名乗りを上げてから戦う。これは古の武士の戦いに見られ、『白波五人男』など歌舞伎にも引き継がれる日本の伝統文化の一面である。これを継承しているものが、今も毎週テレビで放映されている。日曜朝に絶賛放映中の特撮番組『スーパー戦隊シリーズ』である。

大人の方々の中にも、子どもの頃に見られたり、今まさにお子様とご覧になっている方もおられることだろう。一年間ずっと放映を続けるドラマは数少ない現代であるが、三十五年以上続けている日本で唯一の長寿シリーズである。

海外でもそれぞれの国の言葉に吹き替えられて放映される一方、アメリカでリメイクされた作品は『パワーレンジャーシリーズ』と名を変えて世界の百を超える国と地域で放映されたそうだ。

なぜ、文化や地域、世代の違いを超えて多くの支持を集めるのだろうか。少子化の影響もあり、また保護者も一緒に見る人が多い

ので、コメディの要素を取り入れつつ、大人の視聴にも耐えられる作品となっているというところもあるだろう。時には時事問題が描かれることもある。しかし、何よりも性格や能力の違う者達が協力して困難に立ち向かう姿を通して、「友情」「家族の絆」「優しさ」「成長」「勇気」「あきらめない心」「努力」「夢」「挑戦」「信じる」といったポジティブなメッセージを発信し続けていることが最大の魅力になっているのではないだろうか。

親子だけでなく、やがては三代で鑑賞できる日も遠くないだろう。「おじいちゃんも子どもの時に見ようたん？何レンジャーだったん？」と会話ははずむ。暴力的との批判もあるが、「戦いは映像の中だけ」こんな作品が作り続けられる平和な国でありつづけますように。新設校の開校が迫ってきたが、性格や能力の違う者達が協力して困難に立ち向かい、共に栄えていきますように。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

奥津中学校 寺坂 克視

のびのびひろば

～七草粥で元気なからだ～



(大野保育園)

新しい年が始まり、保育園にも子どもたちのにぎやかな声が響きわたっています。

1月7日は、「人日の節句」。この日の朝に食べる縁起食が「七草粥」。保育園でも、園の周辺で春の七草を探して、見たり、触ったり、匂ったりしました。観察した後は、一年を怪我なく元気に過ごせることを願って、みんなで七草粥をおいしくいただきました。まだまだ寒い日が続いていますが、子どもたちは、元気で登園しています♪



どんなにおいがるんだろ？



おいしそうに七草粥を食べる子どもたち♪

おいしいね☆



これは、なにかな？



給食先生が七つの道具でおいしい七草粥を作ってくれたより



春の七草



♪せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ これぞ、ななくさ♪
(歌いながら、春の七草を覚えてよ！)